

令和7年2月市議会定例会

一 般 質 問 通 告 書
(通告者 16名)

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
1	1 保育児童の受入れの現状について 2 子育て環境の改善に取り組む地元企業への支援について	5 番 鈴木 英信 (1) 令和4年度から令和6年度までの認可保育施設に4月1日から入所を希望する申込児童数とその増減について伺う。 (2) 令和4年度から令和6年度までの利用調整結果通知書を受け取った方のうち、辞退した人数及び入所保留となった人数について伺う。 (3) 待機児童数ゼロを維持していくために、本市の課題をどのように捉え取り組んでいくのか伺う。 (4) 待機児童の受入先として、無認可保育施設の詳細な情報を市ホームページ等で提供すべき。 (1) 子育て環境の改善に取り組む地元企業に対し、経費支援や総合評価競争入札方式における加点等の支援策を講ずるべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
2	1 中学校部活動の地域移行について	4 番 佐藤 繁樹 (1) 部活動の地域移行の現状を伺う。 (2) 部活動の地域移行の今後のスケジュールを伺う。 (3) 地域移行後の部活動の理想像を伺う。 (4) 地域移行後の部活動は、子供の可能性を伸ばすことや、多様なスポーツ等に接する機会を創出するため、中学校の競技種目にかかわらず、従前の部活動にないスポーツ等（空道、スケートボード等）も対象にすべき。	教育長 教育長 教育長 教育長	
3	1 環境に配慮した取組について 2 ヤングケアラーについて	16 番 菊地 忍 (1) 市が送付している窓付封筒を資源ごみとしてそのまま出せるよう、フィルムではなくグラシン紙のものに変更すべきと考えるがどうか。 (2) 食品ロス削減推進計画を策定し、取組を進めるべきと考えるがどうか。 (3) スマートフォンのアプリ等を活用し、様々な食品を販売する店舗で売れ残った食品の情報を消費者に届け、販売価格の半分以上や無料で提供するサービスの展開など、食品の廃棄を削減するフードシェアリングに取り組むべきと考えるがどうか。 (1) 実態調査を行い、必要な支援に取り組むべきと考えるがどうか。	市 長 市 長 市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
4	1 本市における有機フッ素化合物への対応について 2 D Xの推進について	1 5 番 大友 康信 (1)水道の水質検査の最新情報における評価を伺う。 (2)水道水の安全性と市民の健康への影響をどのように捉えているのか伺う。 (3)有機フッ素化合物について、これまでどのように対応してきたのか。また、今後の方針や取組について伺う。 (4)本市において、有機フッ素化合物を使用している企業や事業所はあるのか伺う。 (5)市民の健康を守るため、有機フッ素化合物の研究を進めるとともに、調査及び監視を行い、環境の改善に努めるべき。 (1)ナトぽたと県が活用しているポケットサインとの連携の現状について伺う。 (2)なとりコインと県のみやぎポイントの連動の現状について伺う。 (3)本市のD X事業が市民に浸透して、より効果的に活用されるように、県と連携してポケットサインやみやぎポイントと連動できるように改良すべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
5	1 学校給食費無償化について 2 災害時のトイレ対策について	9 番 笹森 波 (1)学校給食費無償化に段階的に取り組んできた経緯がある。今後、どのように進めていくのか伺う。 (2)学校給食費完全無償化を早急に進めるべき。 (1)本市における災害時のトイレ対策の取組を伺う。 (2)緊急防災・減災事業債を活用し、防災トイレカーを導入すべき。 (3)災害時にトイレカーを配置できるよう、自治体や事業所と災害時応援協定を結ぶべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
6	1 一側性難聴者への理解と支援について 2 消防団の在り方について	1 1 番 板橋 美保 (1)一側性難聴者に対する医療・福祉・教育などの支援体制の現状と課題について伺う。 (2)一側性難聴に関する認知度の向上と正しい知識の普及に取り組むべき。 (3)一側性難聴に関する情報提供や相談窓口の拡充、社会への参加や学校生活充実のための環境づくりに努めるべき。 (1)消防団の組織再編や統合の検討状況について伺う。 (2)地域住民、地域の自主防災組織との連携を強化すべき。	市 長 教育長 市 長 教育長 市 長 教育長 消防長 消防長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
7	1 名取市サイ クルスポーツセ ンターの利用促 進について	6 番 寺嶋 雅子 (1) サイクルスポーツセンターの屋外施設、宿泊、入浴における利用者数について、開所からこれまでの年度別推移を伺う。 (2) 屋外施設の利用者数の推移について、増減の要因をどのように捉えているのか伺う。 (3) 屋外施設における機材更新及びメンテナンスの状況について伺う。 (4) おもしろ自転車の破損が目立つが、安全面や利用者数についての影響をどのように捉えているのか伺う。 (5) おもしろ自転車のメンテナンスや更新のサイクルについて基準を定め、常に良好な状態で利用できるよう更新を行うべき。 (6) 自転車コース利用のうち、4キロメートルの自転車コースを利用する割合を伺う。 (7) 4キロメートルの自転車コースの利用を促す工夫として、撮影スポットの設置や、走行距離によるスタンプリーのような取組を行うべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
8	1 独り暮らし の高齢者福祉に ついて	3 番 佐藤 さやか (1) 現時点で把握している、独り暮らしの高齢者の人数を伺う。 (2) 現在、本市で実施している独り暮らしの高齢者をサポートする事業にはどのようなサービスがあるのか。また、今後予定されているものがあるのか伺う。 (3) 今後、独り暮らしの高齢者の増加が見込まれる中、見守りサポーター制度や安心して最期を迎えることができる終活支援等を検討すべき。	市 長 市 長 市 長	
9	1 本市におけ る食と農につい て	10 番 千葉 栄幸 (1) 宮城県みどりの食料システム戦略推進基本計画における本市の取組について伺う。 (2) セリの新品種及び高設ベンチ栽培技術を開発した宮城県農業・園芸総合研究所や新しい肥料を開発した宮城県農業高等学校と連携を図るとともに、市民に対しその研究成果を周知すべき。 (3) 令和7年4月に、仙台・岩沼市・名取岩沼・みやぎ亘理の4つのJAが合併し、県内最大のJAとなる。本市における影響をどのように捉えているか伺う。また、連携強化のため、合併後のJAと包括連携協定を締結すべき。 (4) 市民農園の開設や、農産物直売所・シェアキッチン等を併設する道の駅設置に取り組み、農業の理解促進と地産地消にもつながる都市農業を推進すべき。	市 長 市 長 市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	2 終活支援について	(1) 高齢化社会が進み、独り暮らしの高齢者が急増し、見送る人がいないまま亡くなるケースが全国で多数発生している。本市における孤独死及び引取手のない死亡者の状況について伺う。 (2) 高齢者の孤独死の防止や、残りの人生を安心して有意義に過ごせる環境整備のため、終活相談窓口の設置やエンディングノートの配布、終活セミナーの開催等を実施すべき。 (3) 神奈川県大和市では「一人になっても独りぼっちにさせないまち」の実現を目指し、終活支援条例を制定している。本市においても条例制定を検討すべき。	市 長 市 長 市 長	
1 0	1 市民の健康を守る取組について 2 おくやみ手続のサポートについて 3 防犯対策について	1 3 番 菅原 和子 (1) 全国で700を超える自治体が50歳以上を対象として带状疱疹ワクチン接種費用の補助を独自に実施している。本市でも取り組むべき。 (2) 病気の早期発見、早期治療のために国民健康保険被保険者の人間ドック・脳ドック受診利用補助制度を導入すべき。 (1) 御遺族が行う手続をサポートする「おくやみ窓口」を設置している自治体が増えている。御遺族の負担軽減のため、本市でも取り組むべき。 (1) 犯罪の抑止を図る防犯カメラ、センサー付ライトや窓ガラス等の防犯フィルムなどの防犯対策用品を購入した方を対象に、費用の一部を補助すべき。	市 長 市 長 市 長	
1 1	1 国の令和7年度予算における緊急防災・減災事業及び「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」事業について	1 7 番 小野寺 美穂 (1) 緊急防災・減災事業のメニューの中に「大規模災害時の防災・減災対策のために必要な施設の整備」として、指定避難所となる公共施設の空調・バリアフリー整備等がある。市として対象となる施設への取組計画は。 (2) 指定避難所の1つである第一中学校に、バリアフリー整備の観点からエレベーターを設置すべき。 (3) 熱中症対策の観点からも、指定避難所となる公共施設における空調設備の整備を特に早急に行うべき。 (4) 指定避難所となっても体育館が除外されている小中義務教育学校施設については「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」事業として、体育館の空調設備の整備を進めるべき。また、この事業は、児童生徒及び教職員等が使用する全ての部屋が補助対象になっている。かねてより各校から要望のある箇所への空調設備の整備を進めるべき。	市 長 教育長 教育長 市 長 教育長 教育長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
1 2	1 通学路の街路灯設置について 2 地域コミュニティの推進について 3 休日夜間急患センターについて	1 2 番 大久保 主計 (1)通学路の安全安心の対応について、現状をどのように捉えているのか伺う。 (2)通学路に防犯機能や光害に配慮した街路灯を設置して、児童生徒の安全安心を確保すべき。 (1)地域の町内会、自治会などの活動や役割についてどのように捉え、地域コミュニティの推進に取り組んでいるのか伺う。 (2)名取市第六次長期総合計画で掲げる「公民館を核とした地域コミュニティの活性化」は、地域社会のニーズの変化に対応できるコミュニティセンター化に方向転換を図るべきと考えるがどうか。 (3)地域コミュニティ推進計画を策定すべき。 (1)直近3か年の年末年始の状況をどのように捉えているのか伺う。 (2)年末年始や災害等の予想外の事態に備えた体制強化を図り、対応能力の向上に努めるべき。	市 長 教育長 市 長 市 長 市 長 教育長 市 長 市 長	
1 3	1 虚偽の住民登録に基づく就学の件について 2 本市の人口動態と空き家対策について	1 4 番 吉田 良 (1)これまで届いた全ての投書について、受け取った時期と内容、その都度の対応を伺う。 (2)明白な違法行為であるにもかかわらず、速やかに実効性のある対応を取らなかった理由を伺う。 (3)市長と教育委員会との間における情報共有と、対応等の協議に関する経緯を伺う。 (4)住民基本台帳事務処理要領にのっとった審査が行われていたのか伺う。 (5)同様のことが起こらないよう、本市は部活動を目的とするいわゆる越境通学を認めておらず、虚偽の住民登録は法令違反となることを広報するほか、防止策を講ずるべき。 (1)名取市第六次長期総合計画の初年度から現在までの人口動態について、自然増減、社会増減、転入元・転出先の傾向及び在留外国人数の推移を伺う。 (2)名取市第六次長期総合計画の中間年である令和6年度において、本市の人口は見込みより約2,400人少ない。最終年度の令和12年度に8万5,000人の目標は達成が極めて困難であると思われるが、どのように実現を図る考えか伺う。 (3)報道によると、本市では5,774人の人口増を想定し、4地区を市街化区域に編入する案が進行しているとのことだが、需要予測の根拠を伺う。 (4)本市における空き家数及び空き家率の将来予測を伺う。	教育長 教育長 市 長 教育長 市 長 市 長 市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
		(5)既存住宅地の人口の維持に向けた空き家対策に取り組むべき。	市 長	
1 4	1 名取土地改良区が管理している増田承水路の本市への管理の移管について	7 番 二階堂 充 (1)増田承水路に係る本市、仙台市、名取土地改良区の3者で締結している維持管理協定の概要（都市排水の排水量、維持管理及び浚渫の費用負担等）について伺う。 (2)増田承水路に係る平時及び台風等の豪雨時の管理状況について伺う。 (3)増田承水路の施工時と現在の土地利用（農地、宅地等）がどのように変化したのか伺う。 (4)増田承水路については、現在、平成5年に結ばれた協定に基づき名取土地改良区が維持管理しているが、土地利用の変化及び増田承水路の仙台市側の管理は仙台市が行っていることなどを踏まえ、地域住民を水害から守るべき立場の本市が管理すべき。	市 長 市 長 市 長 市 長	
1 5	1 自然を生かした地域づくりについて 2 用水路のごみ問題について 3 不登校問題について	1 8 番 郷内 良治 (1)五社山自然散策路愛島台ルート登り口付近を整備すべき。 (2)五社山を生かした自然野外活動センターの建設を検討すべき。 (3)市民から請願を受けたパークゴルフ場整備について、どのように検討したか伺う。 (4)市民から強く要望されているパークゴルフ場を、早期に整備すべき。 (1)冬期には名取川頭首工から用水路へ水を流している。防火用水等の役割を果たしていると考えるが、市としてどのように捉えているのか伺う。 (2)用水路の除塵機で上げたごみを市で処理すべきと考えるがどうか。 (1)市内小中義務教育学校での児童生徒の不登校の実態を伺う。 (2)不登校問題について、これまでの対応を伺う。 (3)外出のきっかけづくりとして、農業体験や野山での遊び体験を取り入れるべきと考えるがどうか。	市 長 市 長 市 長 教育長 市 長 市 長 教育長 教育長 市 長 教育長	
1 6	1 救急対応について	1 番 阿部 正義 (1)令和6年の救急出動件数は3,965件と公表されている。このうち、不要不急の救急出動件数とその割合を伺う。 (2)おとな救急電話相談「＃7119」、こども夜間安心コール「＃8000」をセットで、あらゆる媒体等を使い、市民に周知すべきと考えるがどうか。	消防長 市 長 消防長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	2 学校教育体制について	(3) 令和6年の「災害通報入電」総件数、そのうちの「救急通報」「その他」の項目の件数を伺う。 (4) 明らかに救急でも火災でもない通報にはどのように対処しているのか伺う。 (5) 重症患者の救急搬送が遅れることがないよう、救急搬送や災害に関係のない119番通報については、電話を切ることもあると明示し、適切な対応を行うべきと考えるがどうか。 (1) 市内小学校で行っている教科担任制の現状を伺う。 (2) 教職員の働き方改革をさらに推進するため、小学校における教科担任制の拡大を進めるべきと考えるがどうか。 (3) 教職員の働き方改革のほか、児童生徒を多角的にサポートするため、チーム担任制を行っている自治体がある。本市でも小中義務教育学校で導入すべきと考えるがどうか。	消防長 消防長 消防長 教育長 教育長 教育長	